

| 授業科目名 (ナンバリングコード) | 身体教育特講演習Ⅰ【KR】 | | 授業形態 | 演習 | 授業科目区分 | 応用科目 (スポーツ生命科学) |
|----------------------|---|------------------------|-------------------|--|---------------------------------|--------------------|
| 担当教員名 | 飯干 明・小澤 雄二・森 司朗・金高 宏文・山本 正嘉・萬久 博敏・中本 浩揮 ・藤田 英二・高井 洋平・塩瀬 圭佑・長島 未央子・幾留 沙智・永原 隆・石走 知子 | | | 補助担当者名 | | |
| 単位数 | 2 単位 | | 履修年次 | 1年次 | 受け入れ人数 | 5名 |
| 授業の概要 及び達成目標 | 「身体教育特講Ⅰ【KR】」で学んだ身体を教育するための様々な手段について、心・技・体に関する文献購読や調査・測定・討論等を通して理解を深め、生涯にわたって身体を育てていくための実践的な能力と指導力を身につける。 | | | | | |
| 成績評価の方法 | □学期末試験の成績(%) ■授業への取り組み状況(40%) ■レポート等の提出状況(60%) を総合的に評価する。 | | | | | |
| 成績評価の基準 | 上記の条件で総合的に評価する。授業への取り組み状況の評価は、自分の考えを適切に表現できるかを重視する。 | | | | | |
| テキスト、教材 参考書 | テキストは使用しない。資料を適宜、配布する。 | | | | | |
| 履修条件・ 関連科目 | 同時開講予定の「身体教育特講Ⅰ【KR】」を履修すること。 | | 備考(教員メッ セージ含む) | 本演習は、連携教育プログラム履修生の必修科目。原則として夏期休業中の1週間とする。演習の順序が変更になる場合もある。 | | |
| オフィス・アワー | 集中講義の期間中に各教員が対応する。 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | |
| 回 | 担当教員名 | 授業内容 | | | 授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示) | |
| 1 | 森 司朗 | 動機づけ等について | | | 動機づけ等についての復習(30分以上) | |
| 2 | 中本 浩揮 幾留 沙智 | 心のトレーニングについて | | | 心のトレーニングについての復習(30分以上) | |
| 3 | 飯干 明 永原 隆 | 運動指導とバイオメカニクスについて | | | 運動指導とバイオメカニクスについての復習(30分以上) | |
| 4 | 金高 宏文 | 運動指導とコツ・カンについて(陸上運動) | | | 運動指導とコツ・カンについて(陸上運動)の復習(30分以上) | |
| 5 | 小澤 雄二 | 運動指導とコツ・カンについて(柔道) | | | 運動指導とコツ・カンについて(柔道)の復習(30分以上) | |
| 6 | 未 定 | 体力について | | | 体力についての復習(30分以上) | |
| 7 | 高井 洋平 | 球技スポーツにおける攻防の評価について | | | 球技スポーツにおける攻防の評価についての復習(30分以上) | |
| 8 | 塩瀬 圭佑 | 健康と生活習慣について(調査と評価) | | | 健康と生活習慣の調査と評価についての復習(30分以上) | |
| 9 | 藤田 英二 | 健康づくりのための運動処方について | | | 健康づくりのための運動処方についての復習(30分以上) | |
| 10 | 萬久 博敏 | 運動指導とコツ・カンについて(水泳) | | | 運動指導とコツ・カンについて(水泳)の復習(30分以上) | |
| 11 | 長島 未央子 | 栄養について(食事調査と栄養摂取状況の評価) | | | 食事調査と栄養摂取状況についての復習(30分以上) | |
| 12 | 石走 知子 | 休養について(調査と評価) | | | 休養の調査と評価についての復習(30分以上) | |
| 13 | 飯干 明 | コンディショニングについて(調査と評価) | | | コンディショニングの調査と評価についての復習(30分以上) | |
| 14 | 山本 正嘉 | 自然環境下での運動について | | | 自然環境下での運動についての復習(30分以上) | |
| 15 | 飯干 明 | まとめ | | | 課題レポートによるまとめ(3時間) | |